

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

フィデアホールディングス株式会社（証券コード:8713）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

株式会社荘内銀行（証券コード:ー）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

株式会社北都銀行（証券コード:ー）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

■格付事由

- フィデアグループは持株会社の傘下に荘内銀行（山形県）や北都銀行（秋田県）などを擁する地域金融グループであり、グループ全体の資金量は2.7兆円と東北の地銀の中では中位の規模に相当する。フィデアグループのグループ信用力は、相応の資本充実度や貸出資産の質などを評価し「BBB+」相当とみている。内部留保の蓄積などにより、資本充実度を高められるか注目していく。2行は27年1月に合併予定であるが、合併がグループ信用力や格付に直接的な影響を与える可能性は低いとJCRはみている。
- 収益力は格付相応の水準にある。2行合算のROA（投信解約損益を除くコア業務純益ベース）は0.2%台半ば。25/3期のコア業務純益（投信解約損益を除く）は、仕組貸出の残高伸長を主因とする貸出金利の増加、外貨調達コストの減少などを背景に前期比3割の増益となった。今後は預金金利の上昇が貸出金利の引き上げに先行することなどで預貸収支が一時的に悪化する見通し。合併にかかる費用も利益の下押し要因となる。法人・個人向けコンサルティング営業の強化やフィデアグループが強みを持つ再生可能エネルギー関連のビジネスチャンスの捕捉などで打ち返せるか注目していく。
- 貸出資産の質は維持されている。25年6月末の2行合算の金融再生法開示債権比率は2%弱。地公体向け貸出や国債を裏付資産とした仕組貸出といった信用リスクの抑えられた与信を除いても特段問題のない水準である。与信費用は一過性の要因を除けば、長期にわたり抑制された水準で推移している。ただ、再生可能エネルギー関連の一部には計画通りに進んでいないプロジェクトもみられ、留意が必要である。
- 有価証券運用にかかるリスクは比較的大きい。近時はリスクテイクに慎重だが、従前はやや積極的にリスクをとってきたため、金利リスク、価格変動リスクともに大きい。グループ連結のその他有価証券評価損は国内債券を中心に拡大しており、25年3月末にはコア資本の2割強に相当する規模となった。債券を中心にロスカットを進める方針を掲げており、足元の評価損は一定の改善がみられる。
- 資本充実度は格付におおむね見合う。グループ連結の調整後コア資本比率は有価証券の評価損拡大などにより25年3月末には7%台半ばまで低下したが、その後、評価損の縮小やリスクアセットの削減が進み、25年6月末には8%台を回復している。ただ、依然として評価損の金額は大きく、当面は有価証券の時価変動の影響に注意が必要であるとJCRは考えている。リスクアセットのコントロールや更なる評価損の圧縮に向けた取組みを見守っていく。

発行体：フィデアホールディングス株式会社

フィデアグループの持株会社。格付はグループ信用力と同等としている。ダブルレバレッジ比率はやや高いものの一定の水準以下で推移しており、財務運営方針を踏まえると今後もキャッシュフロー・バランスの安定性は維持されるとみられることから持株会社の構造劣後性を反映していない。

発行体：株式会社荘内銀行

- (1) 山形市に本店を置く資金量 1.3 兆円の地方銀行。山形県を主要地盤とし、県内貸出金シェアは 1 割半ばを占める。フィデアグループ連結の総資産や収益のかかなりの部分を占めており、北都銀行とともにグループの中核的な存在である。北都銀行と合併する方針を踏まえ、JCR が評価するグループとの一体性は一段と高まっている。格付はフィデアグループのグループ信用力と同等としている。
- (2) 元々当行は個人向けビジネスに力を入れていたが、近年はグループの方針の下で住宅ローンの残高が減少傾向にあり、収益への下方圧力を相対的に強く受けてきた。今後は地域のポテンシャルが大きい観光分野に注力する方針であり、新部署の設置などの各種施策がグループの収益や競争力の向上につながっていくか見守っていく。

発行体：株式会社北都銀行

- (1) 秋田市に本店を置く資金量 1.4 兆円の地方銀行。秋田県を主要地盤とし、県内の貸出金シェアは 2 割半ばを占める。フィデアグループ連結の総資産や収益のかかなりの部分を占めており、荘内銀行とともにグループの中核的な存在である。荘内銀行と合併する方針を踏まえ、JCR が評価するグループとの一体性は一段と高まっている。格付はフィデアグループのグループ信用力と同等としている。
- (2) 秋田県で盛んな風力発電など再生可能エネルギーに関連したファイナンスの実績、ノウハウが豊富である。風力発電は県外を含め多くのプロジェクトが進行しており、こうした収益機会を取り込んでいければグループ全体の収益の底上げが期待できる。ただ、足元では一部プロジェクトにおいて建設コストや燃料コストの上昇などによる計画の見直しが発生しており、今後の動向を見守っていく。また、その他有価証券の評価損が資本対比で大きいことには注意を要する。

(担当) 坂井 英和・高澤 俊太郎

■格付対象**発行体：フィデアホールディングス株式会社****【据置】**

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

発行体：株式会社荘内銀行**【据置】**

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

発行体：株式会社北都銀行**【据置】**

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 8 月 20 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「銀行等」(2021 年 10 月 1 日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022 年 9 月 1 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) フィデアホールディングス株式会社
株式会社荘内銀行
株式会社北都銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル